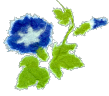


ひきじだい

令和4（2022）年7月4日

文月（7月）号

大和市長
引地台小学校



成長の振り返りとしての学習評価

校長 箱崎 勝美



今年の今ごろの「学校だより」に「梅雨の晴れ間が恋しい時期」と書きましたが、今年には既に梅雨があけました。聞くところによると関東甲信越の梅雨あけは、史上最も早いとの事です。早くも熱中症の対策が必要になっておりますが、平素より、熱中症対策、新型コロナウイルス感染予防にご協力いただきありがとうございます。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

本年度も、感染予防のため、水泳指導は中止となっていましたが、実施できる行事も増えてきました。その行事の1つが、6月23日（木）に3年ぶりに行われた大和市内一斉引き渡し訓練です。授業中に震度5弱以上の大地震が発生した想定で行うものです。

「天災は忘れたころにやってくる。」と言われております。自然災害はその被害を忘れた時に再び起こるもので、「災害の被害は再び起こるから注意しなさい。」との昔からの戒めです。日頃から訓練して、災害に備えることはとても大切なことであり、引き取り訓練に参加し、備えをすることによって被害を軽くすることができます。今回もおうちの人やご近所の方々と危険な場所はどこか、又は、安全な場所はどこかを話し合う良い機会になったのではないのでしょうか。

さて、1学期も、いよいよあと半月となりました。7月は1学期の学びのまとめの月でもあります。各学級では、1学期間を振り返り、子どもたちが自分自身の成長を自覚し、さらに努力すべき点についてしっかりと理解できるように指導して参ります。

本校の通知表では、①「知識・技能」、②「思考・判断・表現」、③「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点で評価しています。詳しくは、各学年の「各教科の学習目標」をご覧ください。

学習のようすは、観点ごとに、「◎：十分に達している。」「○：おおむね達している。」「△：努力を要する。」の3段階で評価しています。学校は平素の授業で、各授業のめあて（目標）に達していると認められる児童は「○：おおむね達している。」と評価します。学習で身に付けた力をもとに、さらに広げたり、深めたりするなど、自ら学習をすすめる様子が見られた場合のみ「◎：十分に達している。」と評価します。5年生・6年生の外国語の評価もこのような評価となります。

また、1年生の1学期について評価は、「○：おおむね達している。」「△：努力を要する。」の2段階で評価をします。

道徳の評価は、個々の児童の変容を継続的に把握して伝えるため、個人内評価で、数値による評価ではなく、記述式の評価となります。1年生では、道徳の評価は2学期からいたします。その他、3年～4年の外国語活動、3年～6年生の総合的な学習の時間等の評価も、記述式の評価となります。

総合的な学習の時間は、学期をまたがって、課題について調べたり、調べたことをまとめて発表することもあるので、1年間を通しての評価を3学期に記述いたします。

子どもたちの成長のためにどのように励ましの声をかけていくのかが、学校でも家庭でも大切な点だと思います。これからも、保護者の皆様と一緒に、子どもたちの可能性を期待して、一人ひとりの長所を伸ばして、成長につなげていけるよう教育活動をに励んでいきたいと思っております。